

平成26年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月4日

上場取引所 東

上場会社名 ウチダエスコ株式会社

コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 英則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 久保 博幸

TEL 047-382-4141

四半期報告書提出予定日 平成26年4月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第2四半期の連結業績(平成25年7月21日～平成26年1月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第2四半期	6,215	5.6	489	24.2	496	23.5	304	26.4
25年7月期第2四半期	5,886	△1.5	394	27.7	401	28.0	241	72.2

(注) 包括利益 26年7月期第2四半期 312百万円 (27.8%) 25年7月期第2四半期 244百万円 (76.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第2四半期	84.75	—
25年7月期第2四半期	67.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年7月期第2四半期	8,316	3,670	44.1
25年7月期	8,635	3,430	39.7

(参考) 自己資本 26年7月期第2四半期 3,670百万円 25年7月期 3,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年7月期	—	0.00	—	—	—
26年7月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年7月21日～平成26年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	2.8	790	5.7	800	5.2	470	4.7	130.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年7月期2Q	3,600,000 株	25年7月期	3,600,000 株
② 期末自己株式数	26年7月期2Q	4,423 株	25年7月期	3,473 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年7月期2Q	3,595,984 株	25年7月期2Q	3,596,527 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産が緩やかに増加、設備投資も持ち直しの動きにあり、個人消費については消費税引上げ前の駆け込み需要も加わり、堅調さを維持し、景気は内需主導により緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境下、当連結グループは、当連結会計年度より第9次中期経営計画（平成26年7月期～平成28年7月期）を推進、「クラウド事業の推進（新セグメントの立ち上げ）」、「パートナー開拓の推進と連携強化」、「マルチベンダーサポートの推進」並びに「経営体質の強化」を基本方針に掲げ、その実現に向けて事業分野ごとに定めた初年度目標の達成に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、フィールドサポート事業における学校市場のICT案件の取扱増をはじめとして、各事業セグメントで売上が増加した結果、売上高は62億1千5百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益は4億8千9百万円（同24.2%増）、経常利益は4億9千6百万円（同23.5%増）、四半期純利益は3億4百万円（同26.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業セグメントの概況は次のとおりであります。

(フィールドサポート事業)

営業力強化による量の拡大(マルチベンダー保守の推進)、新規パートナーの開拓(仮想化構築案件を含むクラウド事業の拡大)、更なるクラウド関連技術者の育成並びに外部協力会社との連携強化等に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、学校市場におけるICT案件の取扱増及び民間市場におけるサーバー仮想化案件等の取扱により増収となった結果、売上高は38億4千7百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業利益は3億9千9百万円(同3.6%増)となりました。

(オフィスシステム事業)

売上拡大に向けた販促活動の強化、オフィス設計・施工とICTを統合したワンストップソリューションの推進並びにWebビジネス(Net2B)の推進等に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、OAサプライやネットワーク構築を含めたオフィス移転案件ビジネスが堅調に推移するとともに、IT関連機器の販売が大幅に伸びた結果、売上高は17億1千3百万円(前年同四半期比5.1%増)、営業利益は3千6百万円(同12.4%増)となりました。

(ソフトウェアサポート事業)

プロジェクト案件の見積り精度の向上、プロジェクト管理システムの運用徹底によるサポート品質の向上並びに営業活動の強化に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、民間市場における消費税対応案件や学校市場におけるWindowsXPサポート終了に伴うリプレース案件並びに公共市場における障害者総合支援法や子ども子育て支援法対応案件を取り扱い、売上高は6億5千4百万円(前年同四半期比8.1%増)、営業利益は5千4百万円(前年同四半期は営業損失2千3百万円)となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、添付資料12ページ「4. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」「II 当第2四半期累計期間」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

従いまして、上記の前年同四半期との比較では、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、83億1千6百万円と前連結会計年度末比3億1千9百万円減少しました。これは流動資産が、売掛金の減少（1億5千2百万円）、受取手形の減少（1億3千1百万円）等により3億2千6百万円減少したことによります。流動負債は、買掛金の減少（3億4千9百万円）、支払手形の減少（9千6百万円）、未払法人税等の減少（8千5百万円）等により前連結会計年度末比5億6千5百万円減少し、固定負債は6百万円増加し、純資産は、利益剰余金の増加（2億3千2百万円）等により2億3千9百万円増加しました。この結果、自己資本比率は、44.1%と前連結会計年度末比4.4ポイント上昇しております。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、34億7千4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1億2百万円（前年同四半期は3億3千6百万円の増加）となりました。これは仕入債務の減少（4億4千3百万円）、法人税等の支払（2億1千9百万円）等により資金の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益（4億9千5百万円）、売上債権の減少（3億7百万円）等により資金が増加したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、2千9百万円（前年同四半期は7千3百万円の減少）となりました。これは有形固定資産の取得（2千2百万円）等により資金が減少したためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、7千3百万円（前年同四半期は5千3百万円の減少）となりました。これは配当金の支払（7千1百万円）等により資金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月期の連結業績見通しは、平成25年8月29日付「平成25年7月期決算短信」にて公表しました数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,475,229	3,474,334
受取手形及び売掛金	3,026,536	2,742,667
電子記録債権	41,102	20,042
商品	46,466	24,085
仕掛品	100,899	109,598
原材料及び貯蔵品	6,197	5,095
繰延税金資産	218,540	173,141
その他	57,229	96,367
貸倒引当金	△1,557	△1,651
流動資産合計	6,970,644	6,643,680
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	266,749	257,525
工具、器具及び備品(純額)	38,303	48,105
土地	737,854	737,854
リース資産(純額)	24,555	23,124
有形固定資産合計	1,067,462	1,066,610
無形固定資産	64,719	68,677
投資その他の資産		
投資有価証券	74,948	84,123
敷金及び保証金	134,419	133,213
繰延税金資産	305,179	301,730
その他	24,639	22,744
貸倒引当金	△6,046	△4,027
投資その他の資産合計	533,139	537,783
固定資産合計	1,665,320	1,673,071
資産合計	8,635,965	8,316,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,662,202	1,216,103
短期借入金	260,000	260,000
リース債務	2,860	3,998
未払金	164,227	170,960
未払費用	364,111	374,777
未払法人税等	237,467	152,350
前受金	1,090,148	1,082,594
賞与引当金	373,962	344,453
工事損失引当金	255	—
その他	139,563	124,024
流動負債合計	4,294,800	3,729,263
固定負債		
退職給付引当金	866,026	868,781
役員退職慰労引当金	12,465	13,720
リース債務	21,694	24,624
長期未払金	10,252	10,252
固定負債合計	910,438	917,380
負債合計	5,205,239	4,646,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,793,939	3,026,764
自己株式	△1,303	△1,991
株主資本合計	3,426,716	3,658,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,009	11,255
その他の包括利益累計額合計	4,009	11,255
純資産合計	3,430,726	3,670,108
負債純資産合計	8,635,965	8,316,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月21日 至平成26年1月20日)
売上高	5,886,486	6,215,639
売上原価	4,101,598	4,378,911
売上総利益	1,784,888	1,836,728
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	7,408	7,318
貸倒引当金繰入額	—	233
給料及び手当	606,970	569,994
賞与引当金繰入額	176,562	175,002
退職給付費用	49,515	46,536
役員退職慰労引当金繰入額	1,454	361
福利厚生費	52,350	54,744
賃借料	65,851	54,133
減価償却費	30,304	27,337
その他	400,363	411,623
販売費及び一般管理費合計	1,390,782	1,347,286
営業利益	394,105	489,441
営業外収益		
受取利息	108	202
受取配当金	2,971	3,623
受取手数料	4,066	2,139
受取保険金	—	64
負ののれん償却額	162	—
その他	2,989	2,151
営業外収益合計	10,299	8,182
営業外費用		
支払利息	1,419	897
その他	1,189	526
営業外費用合計	2,608	1,423
経常利益	401,796	496,200
特別損失		
固定資産除却損	244	1,068
特別損失合計	244	1,068
税金等調整前四半期純利益	401,552	495,132
法人税、住民税及び事業税	194,208	142,738
法人税等調整額	△33,824	47,638
法人税等合計	160,383	190,376
少数株主損益調整前四半期純利益	241,168	304,755
四半期純利益	241,168	304,755

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月21日 至平成26年1月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	241,168	304,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,973	7,246
その他の包括利益合計	2,973	7,246
四半期包括利益	244,142	312,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,142	312,001
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月21日 至平成26年1月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	401,552	495,132
減価償却費	45,113	32,699
負ののれん償却額	△162	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△366	△1,925
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,430	△29,509
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△2,914	△255
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,730	2,755
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,735	1,255
受取利息及び受取配当金	△3,080	△3,826
支払利息	1,419	897
受取保険金	—	△64
固定資産除却損	244	1,068
売上債権の増減額(△は増加)	443,400	307,196
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,933	14,784
仕入債務の増減額(△は減少)	△557,202	△443,919
未払金の増減額(△は減少)	△32,295	△3,593
未払消費税等の増減額(△は減少)	28,399	△22,826
前受金の増減額(△は減少)	51,348	△7,554
その他	1,708	△23,490
小計	433,654	318,824
利息及び配当金の受取額	3,180	3,826
利息の支払額	△1,373	△920
保険金の受取額	—	64
法人税等の支払額	△99,042	△219,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	336,418	102,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,028	△22,751
無形固定資産の取得による支出	△6,923	△5,973
投資有価証券の取得による支出	△700	△720
敷金及び保証金の差入による支出	△64,601	△459
敷金及び保証金の回収による収入	357	909
その他	△691	△529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,587	△29,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△688
リース債務の返済による支出	—	△1,620
配当金の支払額	△53,907	△71,591
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,907	△73,899
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	208,923	△894
現金及び現金同等物の期首残高	2,821,230	3,475,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,030,153	3,474,334

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月21日 至平成26年1月20日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月21日 至平成26年1月20日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,650,441	1,630,916	605,129	5,886,486	—	5,886,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66,236	3,857	163,532	233,626	△233,626	—
計	3,716,677	1,634,773	768,662	6,120,113	△233,626	5,886,486
セグメント利益又は損失(△)	385,271	32,181	△23,347	394,105	—	394,105

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月21日 至平成26年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,847,855	1,713,637	654,146	6,215,639	—	6,215,639
セグメント間の内部売上高 又は振替高	93,944	6,935	177,873	278,753	△278,753	—
計	3,941,800	1,720,572	832,020	6,494,393	△278,753	6,215,639
セグメント利益	399,059	36,169	54,212	489,441	—	489,441

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社連結子会社であります(株)ユーアイ・テクノ・サービスと(株)エスコ・アシストは平成25年1月21日付で(株)ユーアイ・テクノ・サービスを存続会社とした吸収合併を行いました。これに伴い事業セグメントの区分方法を見直し、第1四半期連結会計期間より、従来「フィールドサポート事業」に区分しておりました(株)エスコ・アシストを(株)ユーアイ・テクノ・サービスの「ソフトウェアサポート事業」へ区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。